

第32回研究発表大会

大会テーマ:博物館が提供する様々な経験—教育, 楽しみ, 省察, 知識共有の観点から

口頭発表詳細

日 時 : 令和7年2月13日(木) 10:20~17:07(1日目)
令和7年2月14日(金) 10:20~13:16(2日目)

【会場】(兵庫県立人と自然の博物館 ホロンピアホール)

(1日目)

【開会】

10:00 ~

《受付開始》

10:20 ~ 10:25

《開会挨拶》

【第1ブロック:環境問題を含む地域の課題、生活上の課題、ウェルビーイングなどに関する学習機会の提供】

10:25 ~ 研究発表①

博物館の資源を活用した中高生向け探究学習プログラムの開発

国立科学博物館 有田 寛之・小川 義和
トータルメディア開発研究所 高橋 伸幸・大塚 理恵・高安 礼士
学校法人文化杉並学園 染谷 昌亮・渡辺 翔大・成瀬 敦史

10:39 ~ 研究発表②

火山防災の日を活用した火山教育

磐梯山噴火記念館 佐藤 公

10:53 ~ 研究発表③

高等学校における総合的な探究の時間にアプローチをする
探究学習プログラムの実施について

日本科学未来館 竹内 公彦

11:07 ~ 研究発表④

博物館を拠点とした地球科学分野の探究学習
~第22回地震火山地質こどもサマースクールin平塚の例~

平塚市博物館 野崎 篤

11:21 ~ 研究発表⑤

「教員のための博物館の日」における連携を通じた、多様な学習機会の提供

国立科学博物館 林 健太郎・濱村 伸治

11:35 ~ 11:45

《質疑・まとめ》

11:45 ~ 11:50

《休憩》

【第2ブロック:多様な楽しみを提供する取り組み①】

11:50 ~ 研究発表⑥

名古屋市科学館におけるボーリングコア関連事業

名古屋市科学館 木田 梨沙子

12:04 ~ 研究発表⑦

北九州市スペースLABOにおける大型展示物に即したミニ実験教室の実施

北九州市科学館 川村 康文

12:18 ~ 研究発表⑧

多様な楽しみの創出を目指した分野横断的な企画展の実施

佐賀県立宇宙科学館 伊藤 辰徳

12:32 ~ 研究発表⑨

地域と人をつなぐ巡回展「地球時間の旅」

糸魚川フォッサマグナミュージアム 香取 拓馬

12:46 ~ 12:56

《質疑・まとめ》

【ポスター発表】

- 12:56 ～ 13:14 《ポスターセッション インデックス・プレゼンテーション》
13:14 ～ 13:59 《昼食・休憩》
13:59 ～ 14:44 《ポスターセッション コアタイム》
14:44 ～ 14:49 《休憩》

【第3ブロック：社会的課題に関する子どもから大人までの多様な人々の活動の推奨、支援など】

- 14:49 研究発表⑩ 博物館における合理的配慮とは？
～千葉盲学校との連携を例に～
千葉県立中央博物館 丸山 啓志
- 15:03 ～ 研究発表⑪ 博物館をSDGsを語る場とするために必要な仕掛けと人材
大阪市立自然史博物館RISTEX事業の取り組みから
大阪市立自然史博物館 佐久間 大輔・山中 亜希子
神山 雄人・松井 彰子
- 15:17 ～ 研究発表⑫ もっとみんなのための博物館になるために：
M3プロジェクト実行委員会2022年度の活動から
大阪市立自然史博物館 石井 陽子
- 15:31 ～ 研究発表⑬ 特別支援学校との協働によるケアルームの設置
～誰もが楽しみやすい博物館の環境づくり～
兵庫県立人と自然の博物館 福本 優・橋本 佳延
廣瀬 孝太郎・藤井 俊夫
- 15:45 ～ 15:55 《質疑・まとめ》
15:55 ～ 16:00 《休憩》

【第4ブロック：博物館と市民の探究活動の協働の取り組み】

- 16:00 ～ 研究発表⑭ 展示を介した被災体験の共有 ～2024年能登半島地震の例～
富山市科学博物館 増渕 佳子
- 16:14 ～ 研究発表⑮ 地理情報システム（GIS）を用いた生物分布マップ「びわはくGIS」による
鳥類分布情報の蓄積と活用
滋賀県立琵琶湖博物館 亀田 佳代子・加藤 秀雄・大槻 達郎
- 16:28 ～ 研究発表⑯ ハグロトンボしらべ隊をつづけてみたら
～市民参加型調査会から広がる様々な経験と楽しみ～
高槻市立自然博物館 あくあびあ芥川 秀瀬 みのり
- 16:42 ～ 16:52 《質疑・まとめ》

【閉会】

- 16:52 ～ 17:07 《中間総括》

(2日目)

【 開 会 】

10:00 ～

《 受付開始 》

10:20 ～ 10:25

《 開会挨拶 》

【第5ブロック：市民との知識共有】

10:25 ～ 研究発表⑰

自然史博物館にやってくる市民からの質問：質問対応の中で考えていること

大阪市立自然史博物館 横川 昌史

10:39 ～ 研究発表⑱

天文科学館が考える学びの3段階と星の友の会や天ボラ活動

明石市立天文科学館 沖中 あゆみ・鈴木 康史・石井 優子

10:53 ～ 研究発表⑲

博物館に寄せられる質問の自然史情報としての意義

滋賀県立琵琶湖博物館 金尾 滋史

11:07 ～ 研究発表⑳

SDGs家族会議：小学生を含む家族が共に楽しく学び、対話し、未来を考える
対話型プログラムの成果と課題

福岡市科学館 西澤 息吹・高山 裕明・上田 恭子

11:21 ～ 11:31

《 質疑・まとめ 》

11:31 ～ 11:36

《 休憩 》

【第6ブロック：多様な楽しみを提供する取り組み②】

11:36 ～ 研究発表㉑

京都鉄道博物館における多彩な来館者層に向けたアプローチ

京都鉄道博物館 久保 奈緒子

11:50 ～ 研究発表㉒

顕微鏡で身近な未知の世界を感じる「科学の目」を育てる

多摩六都科学館 原 朋子

12:04 ～ 研究発表㉓

参加者自身が学びの機会を選べる普及教育事業を目指して
～高槻市立自然博物館での企画展と関連イベントの事例紹介～

高槻市立自然博物館 あくあびあ芥川 池田 裕介
結creation/高槻市立自然博物館 北村 美香

12:18 ～ 研究発表㉔

生態画と剥製を核とした企画展「動物のくらしとかたち」の評価と実践

神奈川県立生命の星・地球博物館 加藤 ゆき・石浜 佐栄子
大坪 奏・広谷 浩子

12:32 ～ 研究発表㉕

スタッフの対話力を上げる「対話ログ」の活用

はまぎん こども宇宙科学館 鈴木 啓子

12:46 ～ 12:56

《 質疑・まとめ 》

【 閉 会 】

12:56 ～ 13:16

《 全体総括 》

ポスターセッション詳細

コアタイム時間：令和7年2月13日(木) 13:59～14:44

【会場】(兵庫県立人と自然の博物館 ホワイエ3階)

- 1 「自然系ジュニア学芸員講座」の活動を通じたゼネラリストの養成
〔姫路科学館 宮下 直也・松本 万尋・吉田 航希〕
- 2 目の不自由な方が博物館を楽しむためには？
～体性感覚からのアプローチ～
〔千葉県立中央博物館 丸山 啓志〕
- 3 糸魚川フォッサマグナミュージアムにおける体験型展示物作成
～博物館30周年記念特別展を例に～
〔糸魚川フォッサマグナミュージアム 郡山 鈴夏・小河原 孝彦
茨木 洋介・香取 拓馬・竹之内 耕〕
- 4 肉眼彗星が市民活動に及ぼした影響に関する考察と彗星観望会実施報告
〔月光天文台 鶴谷 律子〕
- 5 企業博物館の専門図書室発信！ 幅広くクルマの魅力を伝える取組み
〔トヨタ 博物館 小室 利恵〕
- 6 暮らしに活かす科学の知恵 みなと科学館のリビングサイエンスプログラムをとおして
〔港区立みなと科学館 太田 陽子〕
- 7 非来館者に向けたダウンロード学習教材の提供
〔日本科学未来館 山野 晋平〕
- 8 対話を重ね、ともにつくる「インクルーシブデザインプロジェクト」始動
～共生社会における新しい博物館を目指して～
〔神奈川県立生命の星・地球博物館 大島 光春・佐藤 武宏・田口 公則
乃村工芸社 佐竹 和歌子・松本 麻里・天野 晴香
関口 郁恵・井部 玲子・宮坂 清佳〕